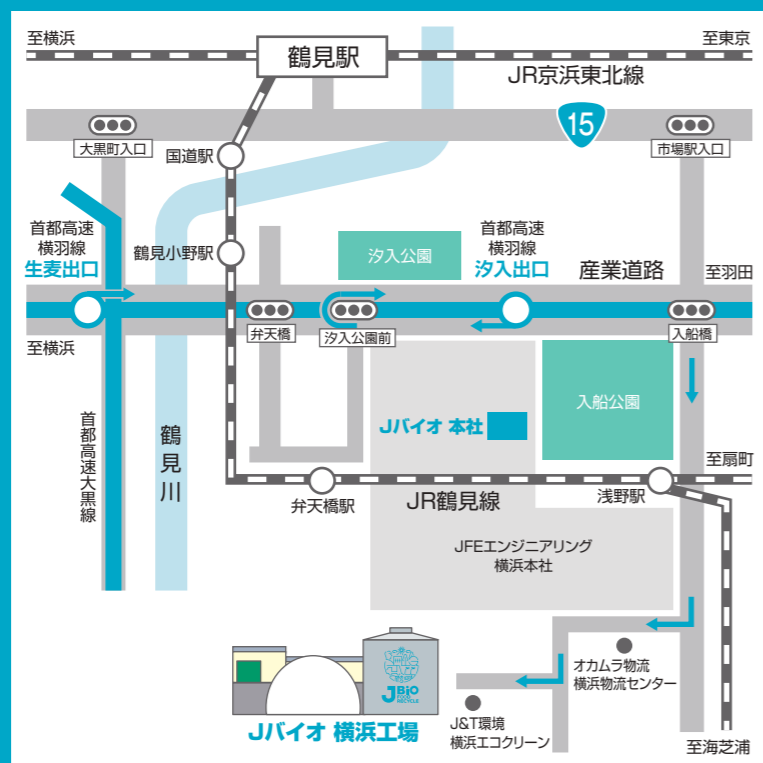


会社概要

社名	株式会社Jバイオフードリサイクル
本社/所在地	神奈川県横浜市鶴見区弁天町3番地1
設立	2016年8月1日
代表者	薩山 佳秀
資本金	6,000万円
株主	JFEエンジニアリング株式会社 J&T環境株式会社 東日本旅客鉄道株式会社 株式会社JR東日本環境アクセス
事業内容	食品リサイクル・バイオガス発電事業、 一般廃棄物処理業、産業廃棄物処理業
工場/所在地	神奈川県横浜市鶴見区末広町二丁目1番5
受入れ量	80t/日
処理品目	一般廃棄物（食品廃棄物） 産業廃棄物（動植物性残渣・汚泥・廃酸・廃アルカリ）
発電量	約1,100万kWh/年 ※一般家庭の約3,000世帯分の年間使用電力量相当
CO ₂ 削減量	約5,500t-CO ₂ /年



株式会社 Jバイオフードリサイクル

〒230-0044 横浜市鶴見区弁天町3番地1
 TEL : 045-505-7845 FAX : 045-505-7467
 URL : <https://www.j-bio.co.jp/>

JFEグループとJR東日本グループの協業による 食品リサイクル & バイオガス発電事業



J Bio
 FOOD
 RECYCLE

株式会社 Jバイオフードリサイクル



5つの特長

地球環境にやさしい 食品リサイクル



食品廃棄物を焼却処分しないことでCO₂排出量を削減
微生物の働きで食品廃棄物からバイオガスを生成し、その燃焼
によって電力を創出しリサイクルします。食品廃棄物の潜在エネ
ルギーを引き出す「もったいない」を大切に事業展開です。

リサイクル率 100%に向けて



発酵不適物は分別し、サーマルリサイクル

有機物はバイオガス発電、容器プラスチック等はサーマルリサイ
クルによってエネルギー回収します。また、使用した水は工場内
で再利用します。工場から出るゴミを減らし、地球環境にやさしい
リサイクルを実現します。

安全・安心の大手事業体 信頼のワンストップ



大手2社のグループが協働し一貫したサービスを実現
食品廃棄物の収集・運搬 ~ リサイクル処理 ~ 売電・電力供給
まで、ワンストップで事業を展開し、排出事業者様のCSRの
取り組みをサポートしていきます。

トリプルセキュリティ 確実なリサイクル



リサイクル対象品を確実に処理

①JFEグループ内の事業用地に立地 ②プラント敷地内、施設
内随所に高感度監視カメラ設置 ③遠隔操作による常時監視
体制によって、盗難等を未然に防止します。

首都圏アクセス好立地



首都圏アクセスの要衝、横浜・鶴見にプラント立地

食品廃棄物を多く排出する首都圏で、アクセス良好な京浜
エリアの横浜・鶴見にリサイクルプラントが立地しています。

地球環境にやさしい、排出事業者様にもやさしい - 100%リサイクルへ

事業内容

Jバイオフードリサイクルは、微生物の働き(メタン発酵)によって、食品廃棄物からバイオガスを発生させ、再生可能エネルギーとして発電し、電力を供給するサービスを展開いたします。

また、ご希望により食品廃棄物を弊社にお任せいただいた排出事業者様に食品廃棄物から得られた電力をJFEグループの「アーバンエナジー」を通じて還元するオプションサービス「創電割※」もご用意いたしております。

※「創電割」…廃棄物処理+電力供給サービス



1 リサイクル資源の受入

食品廃棄物(一廃)、
動植物性残渣・污泥・廃酸・廃アルカリ
(産廃)

排出時の荷姿、内容物に関わらず、JFEグループ「J&T環境」ならびにJR東日本グループ「JR東日本環境アクセス」が安全・安心の収集・運搬を担当いたします。

2 前処理室

食品廃棄物等の破砕・分別装置

受け入れた食品廃棄物等を破砕し、発酵に適した有機物と容器、包装紙等を分別します。

3 調整槽

分別した有機物を水分調整し発酵槽に送ります。

4 発酵槽

微生物の力によって有機物を発酵させバイオガスを発生させます。

5 ガスホルダー

メタン発酵によって生まれたバイオガスを安定した発電を行えるように、貯蔵します。

6 発電施設

バイオガスを利用して発電を行います。

8 排水処理施設

排水は生物処理されたのち、調整槽の希釈水等として再利用されます。
※余剰処理水は下水放流します。

7 再生可能エネルギー

排出事業者様には、再生可能エネルギーを「アーバンエナジー」を通じてご提供するサービスもございます。
詳しくは、営業担当にお気軽にお尋ねください。

